



職場体験学習①

今年度の見中の運動会はいかがでしたか。3年生を中心にみなさんの懸命な姿が目につかぶようです。さて、カイロ日本人学校は8月25日から2学期が始まりました。中学部（2学期から4人になりました）では、8月31日～9月2日までの3日間、以下の3つの事業所で職場体験学習を行いました。体験先は、カイロ市内の日本企業です。本当はエジプトの企業で体験したいのですが、安全面や言葉の問題があり実施は困難です。

- ◆味の素 FOODS EGYPT S. A. E : 市場でうまみ成分である「味の素」をセールスマンになって売る。
- ◆牧野 japanese restaurant : お茶出しなどの接客と調理を体験し試食する。
- ◆読売新聞カイロ支局 : 取材に同行して見学したり、自分が取材したことを記事にしたりする。

味の素 FOODS EGYPT S. A. E

味の素での職場体験を紹介します。味の素は、みなさんもよく知っている日本を代表する大企業です。**味の素は、アジアを中心に世界中に進出していて、2011年にエジプトにも進出**しています。様々な料理に「味の素」を入れてエジプト人の好みを調査し、ご飯やチキンなどの料理でエジプト人の好みに合うと判断して販売し始めました。今年で5年目になりますが、まだまだエジプト人家庭に浸透しておらず、小さなお店が集まった**市場（スーク）**のお店に置いてもらって販売しています。**味の素のセールスマンは、日々営業に回り店頭においてもらうセールス**を繰り返しています。時には店頭立ち、**一つ一つ手売りで販売**もします。価格は**4袋で1LE（エジプトポンド）、約15円**です。



店頭に置かれた「味の素」

味の素のような大企業でも、このような地道な努力を重ねていることに、私は大変驚きました。今は、販売量が少ないため、**大きな赤字**なのだそうです。それでも、**必ずこの「味の素」はエジプト人に支持される**と確信があるから、今は赤字でも販路拡大を目指して努力を重ねています。目標として、何年くらいで黒字に転じるか質問してみました。そしたら、「**20年**」という答えが返ってきました。私はまた驚きました。そうしたら、あと15年もかかります。ちょっと気の遠くなるような話なのですが、それでもエジプトで「味の素」は必ず売れると読み切っています。さらに、人口が急激に増えているエジプトは、**将来の味の素の稼ぎ頭**になると言っていました。そして、「**味の素がエジプトの食卓を変える**」という言葉が印象的でした。

このようなお話を伺って、私も生徒と一緒に市場に行き、お店の前でビラを配りながら手売りする手伝いをしました。私が行ったスークは**マンシェット・ナーセル**というスラム地区です。決して豊かな生活をしている人たちではありませんが、話を聞いてくれて買ってくれる人もいました。大きな利益を生むには、このような努力の積み重ねがあることを身に染みて実感しました。



店頭でビラを配り販売している様子